

芳賀町祖母井1020番地

321390

芳賀町企画課情報広報係

「あなたの声を聞かせてね」コーナー

行き

料金受取人私郵便
宇都宮東局
承認
2263
差出有効期限
平成27年8月
31日まで



(山折り)

(山折り)

※町への要望などで回答を求める場合は、住所・氏名などの連絡先をご記入ください。広報紙面への氏名掲載を望まない場合は、ペンネーム欄にご記入ください。

氏名		年齢	
住所	〒		
電話番号	()		
ペンネーム	※こちらにご記入の場合、掲載はペンネームを使用させていただきます		

はがまる探検隊

第3話

東水沼「唐桶の溜」

唐桶の溜は、東水沼の西端にあり、台地を流れる狭い谷の水不足を補うために造られたとされ、この水が東水沼の唐桶・和泉、西水沼の大和田・舟戸の水田を潤しています。

元々は小さなため池だったため、今から約350年前、新田開発や干ばつにより、ため池の水不足が深刻な問題となりました。そこで当時の名主である岡田宗山氏は、水の確保のために新しい堤防を築き、ため池の拡張工事を行いました。1700年(元禄13年)に現在のため池の原型が出来上がりました。しかし、雨水だけでは広すぎて水量を満たすことができず、水田の水不足を解決することはできませんでした。

そこで、岡田宗山氏は、宇都宮藩に対し、鬼怒川の水を引き入れていた板戸用水から唐桶の溜への通水を願い出ますが、氷室村の反対などで失敗、3回目の交渉でようやく許しを得て、約2.3キロメートルの用水堀と約540メートルのトンネルを完成させ、板戸用水から唐桶の溜への通水を成功させました。1706年(宝永3年)のことです。

唐桶の溜のほとりには、「導水遺跡碑」といって石碑が残されています。この石碑は、岡田宗山氏のひ孫にあたる岡田清宣氏が、宗山氏が行った通水事業をたた



◀桜舞う唐桶の溜



▶トンネル跡



▲岡田宗山氏

え、後世に伝えるため、通水事業完成からちょうど100年を記念し、1806年に建てたものです。

1970年代までは、ため池で鯉が飼われ、ため池の受益者に分けられていたそうです。

平成22年3月には、全国に約21万か所あるため池の中から「全国ため池百選」に選ばれ、町民の憩いの場所となっています。

芳賀町総合情報館 知恵の環館だより

今月の1冊



著：石田 千 (小学館)
夫をなくしたお年寄り、進路に迷う高校生、上司とそりがあわず、落ち込むサラリーマン、合コンに馴染めないOL…。季節、場所、人は変われど、バスにゆり、ゆられて元気を回復していく20編。

※TRC週刊全点案内より転載



著：角野 栄子 (あすなろ書房)
絵：かべや ふよう
ママに叱られて家出をした女の子が、大切なぬいぐるみのうさちゃんをタオルケットを持って犬小屋へ。犬のムムといっしょに夕方までお昼寝したら気分も晴れた。次はどんな家出をするのかな？

※TRC週刊全点案内より転載

わが町三知識 ⑬ 地名の由来 ―八ツ木―

八ツ木(ヤツギ)の「ヤツ」は、「谷津」で湿地を意味し、「ギ」は場所や位置を示す接尾語で、五行川沿いの低湿地に由来する地名と考えられます。このコーナーでは、自然や地形に基づく地名の由来を紹介していきます。だが、土地の名は様々な説が唱えられています。八ツ木については、平成25年3月号広報はがで、高松和夫さんが歴史の視点から八ツ木の由来を紹介していますので、ご参照ください。

新着資料

- 一般書
- ◎そんなに、変わった? 酒井 順子
 - ◎これからお祈りにいきます 津村 記久子
 - ◎歪んだ忌日 西村 賢太
 - ◎高校入試 湊 かなえ
 - ◎泣き童子 宮部 みゆき
- 児童書
- ◎こぎつねボック いまむら あしこ
 - ◎少年口伝隊一九四五 井上 ひさし
 - ◎うみのおばけずかん 斉藤 洋
 - ◎あーん 谷川 俊太郎
 - ◎べんり屋、寺岡の夏。 中山 聖子

TRC週刊全点案内より転載

その他多数入荷していますので、ぜひご利用ください。

8月の休館日
5・12・19・26日
総合情報館 ☎028(677)2525